

東北海区沿岸水温予報(2016年)

海域	経過 (9～11月)	現況(11月上旬～ 12月上旬)	見通し (12～2月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>●定地水温 太平洋沿岸の定地水温は、9月及び10月が「やや低い」～「平年並み」、11月が「低い」～「やや低い」で推移。</p> <p>●定線観測 11月の日本海沖合定線観測(11/10-12)では対馬暖流の0m層で「かなり低い」、50m層で「はなはだ低い」、100mで「平年並み」。</p>	<p>●定地水温 太平洋沿岸の定地水温は、「低い」～「やや低い」で推移。</p> <p>●太平洋沖合定線観測結果【12月(12/2-9)】 津軽暖流の各層最高水温は0m層、50m層及び100m層共に「やや高い」。</p> <p>●日本海沿岸定線観測結果【12月(12/8-9)】 津軽暖流の各層最高水温は0m層、50m層及び100m層共に「平年並み」。</p>	<p>「平年並み」～「やや高い」で推移する。</p>	<p>FRA-ROMSの予測により、今後も同様の傾向が持続すると考えられるため。</p>	<p>八戸港の小型いか釣り漁業によるスルメイカ不漁。 11月までの累計で前年の77%、近5ヶ年平均比56%(ウオダス漁海況速報)</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>(観測日:9月1～4日) 《表面水温》 10海里以内は20～23℃台であり、県南部でやや高めであった。10海里以東では、県中部から県南部の20海里以東でやや高め～高めであった。 《100m深水温》 ごく沿岸域で平年並み～やや低め、県中部から県南部沖20海里以東では高め～極めて高めであった。 (観測日:10月3～11日) 《表面水温》 10海里以内は17～22℃台であり、尾崎沖10海里で極めて高めであった。10海里以東では、県中部から県南部沖10～20海里以東でやや高め～高めであった。 《100m深水温》 沖合に向かうに連れて高くなり、トドヶ崎沖50海里付近で極めて高めであった。 (観測日:11月7～11日) 《表面水温》 10海里以内は14～16℃台であり、県北部でやや低めであった。10海里以東では黒崎沖からトドヶ崎沖の20～50海里で平年並み～やや高めであった。 《100m深水温》 沖合に向かうに連れて高くなり、黒崎沖からトドヶ崎沖の20～50海里で高め～極めて高めであった。</p>	<p>(観測日:11月29日～12月2日) 《表面水温》 10海里以内は12～13℃台であり、平年よりやや低めであった。10海里以東では、全域平年並みであった。 《100m深水温》 県北部沖30～50海里及び県南部沖30～40海里付近でやや高め、尾崎沖40海里でやや低めであった。</p>	<p>1月上旬は、100m深が黒崎、椿島の距岸20海里以西及び尾崎5海里地点を除く全域でやや高め、各0海里定点の10m深は全定点で平年並みと予測。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した。水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>本県海域における9～11月の100m深水温は平年より高め～極めて高めに推移した。 親潮の南下が遅れた影響で9～11月のスルメイカ漁は低調に推移した。 10月中旬に釜石沖のカゴ漁でツノダシが混獲された。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p><9月> 【表面水温】 仙台湾から金華山沖合にかけて22～26℃台で、仙台湾は平年より1～2℃高め、金華山沖は1～3℃高めであった。 【100m深水温】 11～15℃台で、38°50'N(気仙沼沖)の141°50'E付近で平年より低めとなった以外は、平年よりも高め、特に142°E以東では4～8℃高めであった。 <10月> 【表面水温】 仙台湾は20～22℃台で平年並、金華山沖は20～21℃台で平年より1～3℃高めであった。 【100m深水温】 9～16℃台で、38°N(亶理沖)の142°50'E付近で平年より低めとなった以外は1～2℃高めであった。 <11月> (142°10'～142°30'Eは欠測) 【表面水温】 仙台湾から金華山沖合にかけて16～18℃台で平年並であった。 【100m深水温】 11～16℃台で、38°50'Nラインの142°10'E付近で2℃高め、142°10'E以西では全域で平年並であった。</p>	<p><11月下旬> 【表面水温】 仙台湾は13～15℃台で、平年並、金華山沖合は14～18℃台となっており、142°30'E以西では概ね平年並、以東では1～3℃高めとなっている。 【100m深水温】 13～16℃となっており、平年より1～4℃高く、38°Nライン(亶理沖)の142°30'E付近では北上暖水の波及が見られる。</p>	<p><1月> 【100m深水温】 全海域で平年並で推移する。 <2月> 【100m深水温】 38°Nラインの142°10'～142°30'Eでやや高めとなる以外は平年並で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測</p>	<p>昨年(年計505トン)に続くガザミの水揚げ増(11月末現在、水揚げ前年比130%、663トン)。</p>

<p>常磐北部 (福島県沿岸；福島水試発表)</p>	<p>【9月】 <表面水温> 県北:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県南:沿岸、沖合ともに「やや高め」 <100m深水温> 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「高め」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は「高め」 県南:沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」 【10月】 <表面水温> 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県南:沿岸は「やや高め」、沖合は「高め」 <100m深水温> 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」 県中:沿岸、沖合ともに「高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極めて高め」 【11月】 <表面水温> 県北:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 <100m深水温> 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県南:沿岸、沖合ともに「平年並み」 ※ 県北:37-50N、県中:37-25N、県南:37-00N 沿岸域:142-00E以西、沖合域:142-15E以東</p>	<p>10月下旬まで黒潮系暖水に広く覆われていたが、11月上～下旬に沿岸域に冷水域が形成された。 12月上旬には再び黒潮系暖水が県中～県南の沿岸域に波及し、昇温した。12月中旬は県北～県中の沖合域にも暖水が波及した。</p> <p>12月上～中旬の観測結果は以下のとおり。</p> <p>【12月】 <表面水温> 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」 県南:沿岸は「高め」、沖合は「平年並み」 <100m深水温> 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 県中:沿岸、沖合は「やや高め」 県南:沿岸は「極めて高め」、沖合は「平年並み」</p>	<p>【1月】 沿岸域、沖合域ともに高め基調で推移する。</p> <p>【2月】 沿岸域は平年並み、沖合域は高め基調で推移する。</p>	<p>気象庁の1ヶ月予報(12月9日発表)において、親潮南限位置は「42° N、144° E」付近、親潮の面積は「平年並みか平年より小さい」、黒潮流路は房総半島で接岸、期間末離岸と予想されている。</p> <p>FRA-ROMSによると、1月は本県の沿岸域から沖合域への黒潮系暖水の波及は継続し、親潮系冷水の波及が弱いと見込まれている。2月には黒潮系暖水は沖合域に移行し、沿岸域には冷水域が形成されると見込まれている。</p> <p>以上のことから、1月は高め基調、2月は平年並みで推移すると予測した。</p>	<p>○カツオまき網、竿釣りの漁場が10月に福島県沿岸域(距岸20～50マイル)に形成された。</p> <p>○昨年より10日遅い11月10日に福島県沖にサンマ漁場が形成された。</p>
<p>常磐南部～鹿島灘 (茨城県沿岸；茨城水試発表)</p>	<p>9月は、表層では「平年並み～やや高め」、50m深以深では「平年並み～高め」となっていた。</p> <p>10月は、表層では引き続き暖水の影響で「やや高め」、50m深以深でも「平年並み～やや高め」となった。</p> <p>11月は、会瀬～大洗沖では冷水が南下した影響により「やや低め」となったが、その他では概ね「平年並み～やや高め」であった。また、犬吠埼沖では黒潮の影響により「高め～極めて高め」の点もみられた。</p>	<p>12月は、平年と比べると、全域で「平年並み～やや高め」となり、会瀬～大洗定線では「高め」の点もみられた。</p>	<p>「平年並み～やや高め」で推移する。</p>	<p>①自己回帰モデルによると、1月は「平年並み～やや高め」、2～3月は「平年並み」で推移する予測。</p> <p>②気象庁によると、親潮の面積は平年より小さく、向こう1ヶ月の海面水温は「平年並み～平年より高い」との見通し。</p> <p>③FRA-ROMSによると、1月上旬および2月上旬の水温は「やや高め」の予測。</p>	<p>①8月の海洋観測において、会瀬～鹿島定線の沖合で海洋観測史上最高水温が観測された。</p> <p>②7月～10月にかけて、那珂湊定地水温の月平均値が近年では最高の値を示した。</p> <p>③9月、底曳き船にウシエビが混獲。</p> <p>④10月、曳釣船にツムブリが混獲。</p> <p>⑤6～10月、採鮑漁業者によりサザエが確認された。</p> <p>⑥8～9月、シラス漁が統計開始以来過去2番目の不漁だった。</p> <p>⑦11月以降、北部まき網によるサバの水揚げが1日1万トンを超える日が継続(過去20年で初)。11月の水揚量は8万トンを超え(速報値)、1ヶ月の水揚量としては28年ぶりの豊漁。</p>

各階級の水温年平均偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10～70 海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～